



Chigasaki mates

2011. 4. 1

茅ヶ崎方式英語会 協力校通信 第54号

有限会社 茅ヶ崎方式英語会 102-0073 東京都千代田区九段北1-6-6 カサイビル I
Tel/Fax 03-3288-2770 <http://www.chigasakieigo.com/> e-mail: info@chigasakieigo.com

千年に一度の巨大地震が発生いたしました。被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

Jmail from the UK

Junko Fuse

3月11日に起きた東日本大震災は世界の他の国々と同様、英国にも大きな衝撃を与えた。現在もテレビ、新聞のトップニュースは日本関連のものであり、多くの人が日本の情勢を固唾をのんで見守っているような状況だ。

同時に、「日本のために何とかしたい」という気持ちを持つ人たちが支援を申し出てくれる。現在の職場は日本語教師養成のための教育機関で、教育実習等を通してロンドンおよび近郊に住むイギリス人や他の国からの人たちが実習生やスタッフと親交を深めている。それらの人との連絡役を務める私のメールアドレスには、震災が起きたその日から多数のメッセージが入ってきており、今も止むことがない。そのうちのいくつかをここに紹介したい。(すべて原文のまま)

Our thoughts are with you all, especially anyone who has family and friends in the worst affected areas. We hope for the best. Please let us know if there's anything we can do.

* * *

I write to you with my biggest sympathy regarding the news of Japan. I feel the sorrow of many, and pray for every single person and family out there. Please, if there is anything you think I could do for help in any situation big or small, please let me know.

* * *

I am very shocked and saddened to see and hear today's horrific reports about the earthquake and tsunami in NE Japan. Will you and all the staff and students please accept my sympathy at this sad time.

* * *

Like everyone around the world, I am shocked at the devastation caused by the earthquake and tsunami in Japan. My thoughts are with you.

* * *

I hope you and your family are safe at this difficult time in Japan. My prayers and good wishes go out to all the people of Japan and hope for a better tomorrow.

* * *

I saw it and my eyes were filled with tears as the innocent souls of brothers and sisters, adult and children, friends and love-ones were swept away in this great calamities. I still can not comprehend it. Is it God or Nature taken its course? Words seem inadequate to express the sadness and sorrow I feel over this great loss neither is there any word that can really help to ease the loss you all bears. But just to let you all know that you are not alone. You are close in every thought and prayer. May God heal all the broken hearts.

メールだけではなく、実際に来て言葉をかけてくれる人、お見舞いのカードを手渡しに来る人などもいる。本当に有難いことである。

3月13日付 The Independent 紙日曜版が、1面に日の丸をあしらったデザインの中に日本語で「がんばれ、日本。がんばれ、東北。」の文字を入れ、その下に

Don't give up, Japan. Don't give up, Tohoku.

と英語で書いたものを掲載した。遠く離れた日本の状況をただ胸を痛めて見ていることしかできないわが身と心にこの1面は深く沁み込んだ。



THE INDEPENDENT 紙 1面より

きっと他の国からも同様の支援が日本に届いていることだろう。海外にいて、身の回りに自分の国について本気で心配してくれる人たちがいることを肌で感じるほど嬉しく勇気づけられることはない。

今、ここで被災者のためにできることをしたい。英国では、募金活動をする際にただ募金を呼びかけるだけではなく何かのイベントと併せて行うのが一般的だ。近日中に職場で日本関連の催しを行う予定である。何をすることにせよ、皆同じ気持ちのはずだ。先の新聞の言葉を借りて叫びたい。「がんばれ、日本。」

(英国/ロンドン グリニッジ在住)

~~~~~

底んところしく

阪神香櫨園校・阪急西宮北口校 和久津 由実子

皆さんは和ろうそくの芯が紐ではなく筒であるのをご存じですか？私は2002年に外国人ゲストを招いての初めての西宮英語ツアーを行うまで知りませんでした。普段茅ヶ崎方式の教材で英語力のインプットに励んでいる参加者の皆さんのアウトプットの場の創造。たまたまその年NHKの朝ドラ「さくら」で飛騨高山地方の和ろうそく屋さんが話題になり、他にも日本の古き良きものがネオ・ジャパネスクとして注目されました。そんなことも手伝って兵庫県伝統工芸品の指定を受けている西宮市今津の和ろうそくの松本さんの工房を訪ね始め、今回で6回目になります。私はこの春、20年ぶりに東京へ戻るため今回で最後の訪問となりますが、何度来てもその都度新しい発見がある興味深い常に進化していくのがこの工房です。

和ろうそく作り50年、熟練の3代目松本さんが太い竹串のまわりに直接ろうを手で塗りつけています。若社長さん4代目松本さんも若い経営感覚とセンスも取り入れつつ頑張っています。私たちの手のひらにのせてくれた和ろうそくの芯。和紙をまるめ、井草のズイを巻きつけ、薄く伸ばした真綿で包む3層の芯はまさに管。そう、できあがった和ろうそくの底には大きな穴が……。和ろうそく

を手にとられることあれば、底んところを確認してください。また外国の方に和ろうそくについて説明される時は、そこんところから出発してください。中学の国語の教科書にもよく取り上げられるファラデーの「ロウソクの科学」も、開国直後の日本から偶然手に入れた和ろうそくについて、そこんところを書いています。

火をつけると管から上がって来る空気が炎を不規則に揺らす。その「かぎろい」を見つめていると人は喜びや哀悼や優しさ等いろいろな感情が湧き、炎と対話することができる。松本さんの工房ではそんな話を聞きながら、芯を刺した竹串に温めたロウを手で塗りつけて太さを出す作業を体験できます。和ろうそくの主な原料はハゼの実。長崎県産の融点の低いハゼロウ（内ロウ）で太さを出した後、仕上げに愛媛県産の融点の高いハゼロウ（外ロウ）で外壁をつくる。すると外壁は防波堤の役目をし、常に適度の内ロウの液溜まりを芯のまわりにつくり、ろうそくは燃えつきるまで型崩れをしない。“A candle burns evenly!”今回のゲスト、バングラディッシュ出身で阪大で文学を研究しているサンヤットさんも納得の様子だ。

それもそのはず、参加者6名で和ろうそく作りの6工程をそれぞれひとつずつ受け持ち、簡単明瞭な英語説明ができるように準備した。「ハーローウィンの時だけは、洋ろうそくにしないと spooky にならないよ。」等、皆さん緊張の面持ちの解説の中にもユーモアセンスを忘れない。

最後に松本さんから和ろうそく作りでもっとも大切にしている言葉「和顔愛語」を頂きました。公私とも苦しく辛い時期にも、和やかな顔で愛に満ちた優しい言葉を使っていると不思議と運が向いてくる、というものだ。思い当たるね、そうありがたいね等と語り合いながら2時間弱のツアーを無事終えることができました。

最後に「さくら」の中で主人公のさくら（ハワイ出身の日系3世のALT）がホームステイした和ろうそく屋さんの息子が参加した校内英語スピーチコンテストの内容をお届けします。普段当たり前すぎて気にも留めなかった祖父の和ろうそく作りが、それは途方もなく素晴らしいものだったと気づいた中学生の素直な気持ちが印象的なものです。味わってみてください。そして全国の茅ヶ崎方式の講師の皆さんがそれぞれの地域をプロデュースする英語ツアーに参加者の皆さんと楽しんで下さったらとてもうれしく思います。また、会いましょう。

My grandfather is mainly in charge of making the Warosoku.

This has been his work more than half a century and his candles are all hand-make.

His day begins at 4:00 in the morning and lasts till 8:00 in the evening.

I have been watching my grandfather making these candles since my childhood.

So I never felt anything special about it until the other day when something happened to make me think warosoku making.

My grandfather works all day in a small workshop plastering bamboo sticks with wax which is a tough work.

I do not know much about it.

But I do know that a seasonal change easily affects candle making.

The cold and dry weather in winter causes cracks in the candles while in summer wax takes longer to harden.

My grandfather often tells me the season best for the wax are the same as the one when we relax.

He makes 150 candles a day.

It is amazing how his candles turn out to be the same shape and size after being recoated and recoated with wax.

He can duplicate the same candles that were used back in the Edo Period.

We often hear the word “Japanese tradition” and in the process of coming up with a topic for the speech contest, I realized the word was close by my side.

Thank you.

## 協力校紹介 第47回

《北千里校》 大阪府吹田市

代表 服部 優子

皆さん、はじめまして。 大阪北部の北千里に教室を開設しております服部と申します。受講生向けの教室の案内は、ホームページやブログに掲載しております。ここでは、違った角度からお話しいたします。

茅ヶ崎英語教室を開設したのは、2年前の2009年4月です。それ以前は、会社勤務を経て10年ほど産業翻訳の仕事をしていましたが、その後、縁あって、翻訳講師を務めていた大阪市内の学校で数年間、運営をまかせていただいております。家庭の事情でこの職を辞して、自宅近くで教室を始めようと思ったのが、茅ヶ崎英語との出会いです。

月刊英語読本の存在は、20年以上前から知っておりましたが、茅ヶ崎英語の学習経験はなく、教室開設のための情報を集める中で、茅ヶ崎英語教本に魅力を感じ、特に英語学習者にとってBook1は非常に役立つと確信し、教室開設に至りました。現在、教室の受講生さんに教えながら、私も一緒に教本を学ばせていただいております。

過去の経験上、教室の立ち上げや運営のたいへんさも知っておりましたので、翻訳をしながらの二束のわらじで、自分が管理できる範囲で進めていこうと計画していました。2年目は、おかげさまで45名ほどの受講生数となり、何とか計画通りに進んでおります。

開校初年度は、C1とC2、2年目は、C0.7(テキストはB0を利用)とC3を追加しました。3年目に入るこの4月からは、新たに茅ヶ崎英語とは違う、B2というビジネスクラスを開講します。

教育にはずっと関心があったものの、以前は、英語は日本人にとって、海外を相手にする一部の人のための道具だと考えていました。ところが、昨今の急速なグローバル化の中で、日本だけが英語下手のために取り残されていくのではないかと、国力衰退の大きな要因の一つになりかねないのではないかと危惧するようになりました。本当にささやかではありますが、英語教育に携わり、これから社会で活躍する人たちの力になることができれば、と考えています。また、受講生さんからいただく月会費の10%は、地元大阪と世界の貧しい国の子供たちの教育目的に使用されるよう、毎年寄付を行っています。

茅ヶ崎英語の全国大会などに参加したいと思いつつ、まだできずしております。教材や教授法、教室運営などで協力できるネットワークは、大切だと考えておりますので、今後とも、どうぞよろしく願いいたします。また、場所と時間に拘束されず便利です。サイバー上での交流や情報交換の場が創れたらいいな、と勝手に考えております。

最後になりましたが、毎回、新しいニュースを作成してくださる本部のみなさまに、心より感謝申し上げます。

教室HP：<http://www.ccc-osaka.com/> 教室ブログ：<http://blog.goo.ne.jp/ykhattori>

あとがき：大地震からの一日も早い復興と原発事故の無事解決を心より願っております。